

第四回定例会 議会公日誌から

九月二十七日	広報調査特別委員会
十月四日	広報調査特別委員会
十月七日	広報調査特別委員会
十月九日	第4回臨時会
十月九日 ～十日	平成30年度 標茶町各会計決算審査特別委員会
十月二十一日	総務経済委員会
十月三十日	議会運営委員会
十一月一日	第5回臨時会
十一月八日	厚生文教委員会
十一月十五日	総務経済委員会
十一月十九日	釧路町村議会議員研修会
十一月二十九日	釧路公立大学事務組合11月定例会
十一月二十九日	釧路北部消防事務組合第2会臨時会
十二月六日	議会運営委員会
十二月十日 ～十一日	第4回定例会
十二月十日	議会運営委員会
十二月十日	厚生文教委員会
十二月十九日 ～二十日	釧路町村議会議長会
十二月二十六日	広報調査特別委員会



— 故館田賢治議員を悼み本会議場で追悼文を読み上げる後藤勲副議長 —

編集後記

第4回定例会は、去る十一月一日、突然逝去された館田賢治前議長の御霊に黙祷を捧げて始まりました。盟友であり親友の後藤副議長が述べる追悼の言葉を噛みしめながら席に着きました。

氏の、義理に堅く、人情に篤く、何より信義を重んずる姿が、私たちは勿論、多くの町民の胸に生き続けるよう念じ、合掌したいと思います。

さて今回、一般質問には7氏が登壇。13件の中では、一次産業に関する質問が目立ちました。厳しさを増す状況の下、標茶町に明るい未来を手繰り寄せるための、前向きな質問であったと思います。一方で、各分野において、行政と議会の間に関心感を共有できていないと感じる場面があり、今後さらに議論を深める必要ありと痛感しました。また、これから着手する政策は当然のことながら、既に動き出しているものでも、加速する人口減少にどう対応しようとしているのかを明らかにしなければなりません。

議会だよりを通じて、正確な議論の経過を町民に届け、判断基準を示すことが重要であると、決意を新たにしました。

(文責 類瀬光信)